

- 区画整理事業の進展に伴う土地利用の促進と住民のQOL向上によるエリアの魅力増進を目的に、「エネルギー」、「モビリティ」、「パブリックスペース」、「ウェルネス」をキーワードに複数分野にまたがる総合的なスマートシティを展開。
 - 市、民間事業者、大学等により組織される柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)がプロジェクトの事務局を担い、市と民間事業者との間を適切につなぐ潤滑油役として、また、プロジェクトを前に動かす牽引役として機能。

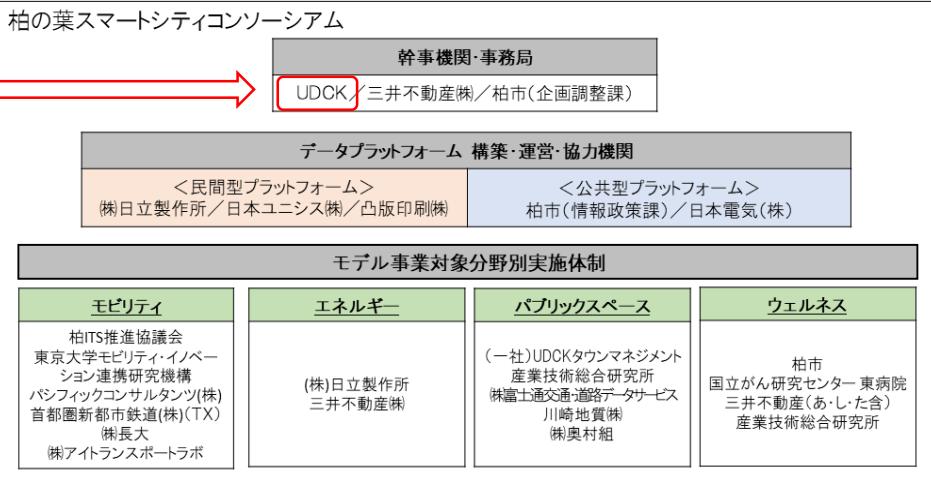
◆対象区域



◆事業実施体制



- 行政と民間を結合し、スマートシティ事業の事務局として牽引力をUDCKが創出。
 - 専門人材を育成する大学における現場感覚を醸成するフィールドとしても可能性。



◆スマートシティの取組

エネルギー



モビリティ

- 地域内交通ネットワークイメージ

東京大学
柏キャンパス

国立がん研究
センター・東病院

県立
柏の葉公園

千葉大学

柏の葉キャ
ンパス駅

2km 1km 500m

主要ネットワーク
補完ネットワーク
自動運転バス実証運行

誘致を図る街区

パブリックスペース

- ・人流解析等に基づく開発計画、空間デザイン
 - ・AI解析による道路等の予防保全型維持管理

ウェルネス

